

第1回 平取ダムモニタリング部会 議事概要

開催日時	令和2年10月19日(月) 12:30~16:00(現地視察含む)
開催場所	ふれあいセンターびらとり
出席者	高橋委員、中津川委員、藤巻委員、眞山委員、丸谷委員
概要	<p><b>【設立趣旨】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より設立趣旨(案)を提示し、了承される。</li> </ul> <p><b>【「平取ダムモニタリング部会」規約】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より規約(案)を提示し、了承される。</li> <li>・了承されたことにより、本規約は令和2年10月19日より施行する。</li> </ul> <p><b>【「平取ダムモニタリング部会」運営要領】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事務局より運営要領(案)を提示し、了承される。</li> <li>・部会は原則公開で実施するが、新型コロナウイルス感染症対策のため、本日の部会は、委員及び事務局で実施する旨を説明し、了承される。</li> <li>・了承されたことにより、本運営要領は令和2年10月19日より施行する。</li> </ul> <p><b>【部会長の選任】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員の互選により、中津川委員が部会長に選任される。</li> </ul> <p><b>【議事1：平取ダム建設事業について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に意見なし</li> </ul> <p><b>【議事2：平取ダムモニタリング調査計画(案)】</b></p> <p>主な意見は以下の通り。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生態系典型性調査の鳥類についてはコドラート周辺にて確認された種についても記録しておいた方が良い。</li> <li>・鳥類の調査時期は春に1回となっているので、留鳥と渡り鳥が同時に確認できる時期を狙って調査をしてほしい。さらに、今後も同時期に調査を実施することで、湛水前後を比較できるデータの取得に努めた方が良い。</li> <li>・ダムサイト右岸には、崖錐があると考えられるため、試験湛水の水位低下時に崩れやすいと思われる。これらについて事前によく検討してほしい。</li> <li>・ダムサイト上流において、絶滅危惧種のクロビイタヤを視認した。水没する箇所に生育している可能性もあるので、再度確認してほしい。</li> <li>・魚道の遡上降下については、現時点で具体的な調査方法が記載されていない。融雪期における貯水位低下の際の放流による濁りがスモルト降下に影響することが懸念される。これを踏まえて今後の調査計画を立案した方が良い。</li> <li>・北海道初の流水型運用を行うダムなので、ダム下流河川の土砂動態についても十分に注視してほしい。 二風谷ダムとも情報共有して流域全体での土砂動態にも留意するようにしてほしい。</li> <li>・平成15年の大出水のような周辺環境を大きく変えるようなイベントが</li> </ul>

	<p>あった場合、その後のモニタリング計画について検討しておいた方がよい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・フォローアップ委員会では、視点場の快適性について指摘されることが多い。すずらん群生地にはトイレが無かったので、整備することでより多くの来訪者が獲得できると思われる。</li></ul>
--	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------